

2020年1月20日

# 『パルキッズくるめ』活動紹介

パルキッズくるめ  
代表 張 友樹

# 本日の内容

1. 自己紹介
2. 活動を始めたまきっかけ
3. パルキッズの活動紹介
4. 特色
5. まとめ

# 自己紹介

名前：張友樹（ちょうゆうき）

出身：福岡市

所属：

- ①久留米大学大学院 比較文化研究科 在学中
- ②久留米市市民公益活動団体 パルキッズ久留米大学 責任者
- ③久留米市市民公益活動団体 パルキッズくるめ 代表
- ④久留米市市民活動サポートセンター みんなくる 職員
- ⑤NPO法人 ハッピーママくらぶ 理事 など

# 取り組みを始めたきっかけは？

- 環境問題と環境法を学ぶため大学に入学。



- しかし、ハード面だけの取り組みでは環境問題を解決できないと。



- 環境体験型学習などのソフト面について感心を持ち、学部生時代から小学生を対象に河川体験学習を行い始める。

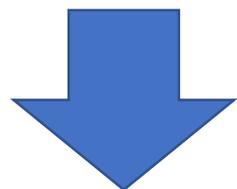


- しかし、対象者である小学生についての知識がなく、対象者を知るためにも小学生を対象にした支援活動も始める。

2010年にパルクィッズ久留米大学を設立

# パルキッズ久留米大学とは

- 小学校やコミュニティセンターで、小学生と大学生が勉強や遊び等を通して一緒に学ぶことを目的としたサークル  
また、久留米市民公益活動団体



大学生と地域住民と小学校が一体となつて子どもたちの居場所づくりを行う

# 活動状況

## ●活動日

毎週水曜日 (15:30~17:00)

毎月第2、第4土曜日 (10:00~12:00)

長期休暇

- ・水曜日は学生主体の活動
- ・土曜日は地域住民主体の企画のサポート

●活動スタッフ数 約15人 (大学生)

# 主な活動内容

## ●水曜日の内容（小学校の体育館、グラウンド）

- ・ 鬼ごっこ
- ・ サッカー
- ・ 野球
- ・ バトミントン

## ●土曜日の内容（コミュニティーセンター、地域）

- ・ ものづくり教室
- ・ お菓子作り
- ・ 茶道
- ・ 大正琴

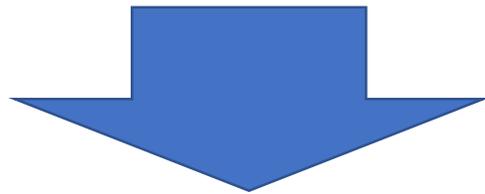
## ●長期休暇中の内容

- ・ コミセンで宿題のサポート（全6回）
- ・ 校区で行われるクリスマス会での出し物企画

# 活動における大学生の役割

大学生は子どもではないが、  
大人でもない。

だからこそ、子どものニーズを  
大人に伝えることができる。

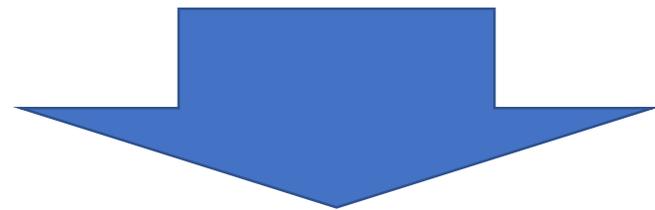


子どもと大人の伝達役

その後大学を卒業したOB,OGが・・・

# パルキッズくるめとは？

- 2017年に設立
- 活動目的は、小中高を対象にした社会教育支援活動
- メンバー構成は、20,30代の学生や社会人 約20名
- 久留米市市民公益活動団体

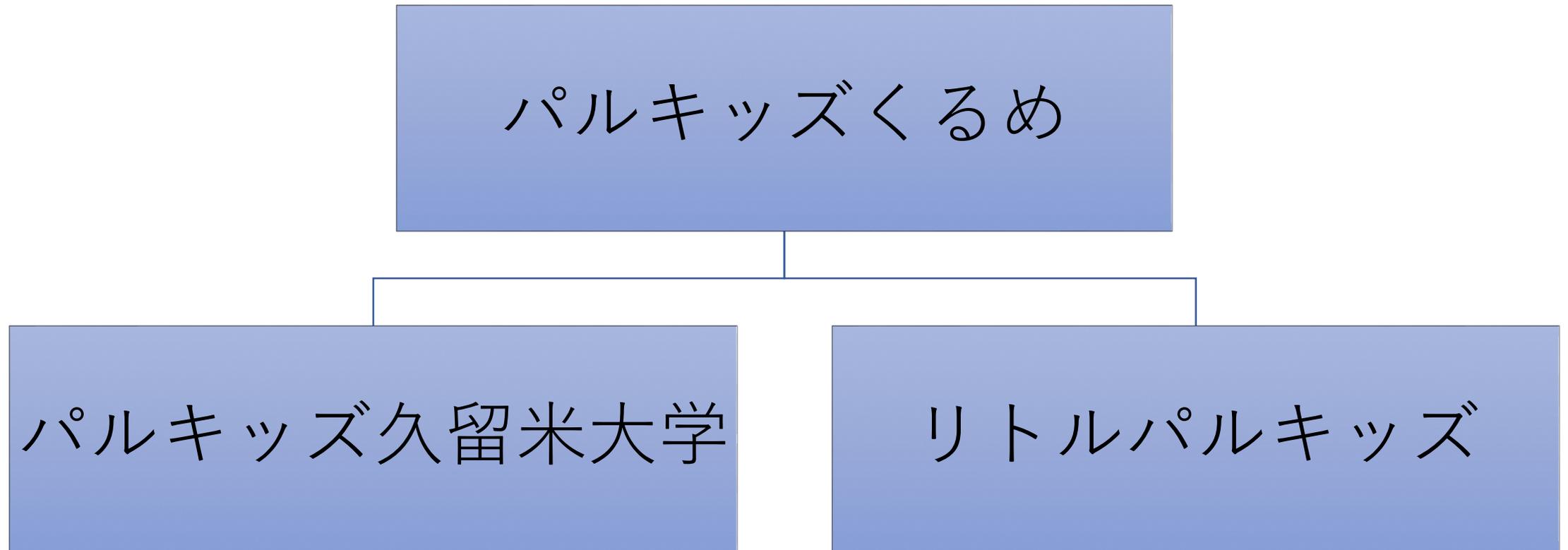


**子どもに関わることはすべては活動対象**

# パルキッズくるめ活動内容

- 土曜夜市…久留米市の祭りに出店
- 夏季休暇宿題塾…夏休み期間の宿題塾
- 河川体験…カヌー教室や魚とり
- 宿泊体験…1泊2日の宿泊体験
- 通学体験塾…5・6年生を対象とした4泊5日の通学体験塾
- 子どもフェスタ…小学校内でものづくりや働くなどの体験
- 小学校のゲストティーチャー
- リトルパルキッズ…中高生を対象にした社会教育活動

# パルキッズ組織概要



# 団体の特色は？

- 若いメンバーが多い
- 県外や市外出身が多い
- 教職などの教育関係者はあまりいない
- 活動日数が多い



年間120日

# 活動の特色は？

**子どもに関わることはすべては活動対象**ではあるが  
何かの「ジャンル」に特化せずに  
できる人たちと組みながら進めていくタイプ

例えば・・・

- 子ども × くるめウス × 企業
- 子ども × 高良川 × 国際交流
- 子ども × オリンピック × 洪水

# ひとつの「ジャンル」に縛られない

色々な方々に出会える

結果、新しいアイデアや工夫が生まれやすい



**「地域」が抱えている課題を色々な人々に共有できる**



**課題がもっと解決されるのでは！！**

# まとめ

- 関わりやすい地域、大人とは？

- ①メンバー(若者)のことを信頼している

- ②地域側や大人の方たちが、メンバー(若者)との関わりを楽しむ  
もしかすると逆の立場も同じでは

- 継続していくためには？

- 活動は地域のためではなく、あくまでも「遊び感覚」が継続力へ  
結果、地域のためになっている

ご清聴ありがとうございます